

Ⅲ 臨床編
Ⅲ-1 肝疾患

用語	かな	欧文表記	略語	同義語・関連語	解説
亜急性型急性肝不全	あきゆうせいいたきゆうせい かんふぜん	acute liver failure; subacute type			急性肝不全のうち、初発症状出現から昏睡Ⅱ度以上の肝性脳症が出現するまでの期間が11日以降56日以内のもの。
アセトアミノフェン	あせとあみのふえん	acetaminophen		paracetamol	解熱鎮痛薬。欧米では劇症肝不全の原因として一番多い。
アポルト	あぼると	auxiliary partial orthotopic liver transplantation	APOLT	自己肝温存生体部分肝移植	不全に陥った自己肝はそのままにするか、一部を切除して、補助的にドナーからの部分肝を移植する方法。
アンモニア	あんもにあ	ammonia	NH3		窒素代謝の過程で生じる。神経毒性があるが、肝臓で解毒される。
E型肝炎ウイルス	いーがたかんえんういるす	hepatitis E virus	HEV		RNAウイルス。経口感染で広がり妊娠第二期、第三期の妊婦が感染すると重症化する。
A型肝炎ウイルス	えーがたかんえんういるす	hepatitis A virus	HAV		経口感染するウイルス。劇症化の確率は低いが集団発生例もある。
エラッド	えらっど	extracorporeal liver assist device	ELAD		高分化肝芽腫細胞を充填したバイオリクターを用いた人工肝補助システム。
オンライン血液濾過透析	おんらいんけつえきろかどう せき	on-line hemodiafiltration			エンドトキシンプリーとした透析液の一部を補充液として用いる血液浄化法。大量濾過が可能であり、人工肝補助療法としても用いられる。
活性炭血液灌流	かっせいたんけつえきかん りゅう	charcoal hemoperfusion			活性炭の炭素原子の疎水結合により物質相互作用を利用する吸着療法。睡眠薬、農薬、抗不整脈薬などの薬物中毒の治療に用いられている。
肝移植	かんいしょく	liver transplantation	LTx		肝不全患者に肝臓を移植する治療法。肝再生のみられない急性肝不全患者に対する最終的な治療法。
肝腎症候群	かんじんしょうこうぐん	hepatorenal syndrome	HRS		急性肝不全や肝硬変末期に生ずる急性腎不全。
肝性昏睡	かんせいこんすい	hepatic coma			肝不全の脳浮腫の回避や出血防止のため起因物質を除去する。
肝性昏睡物質	かんせいこんすいぶつしつ	hepatic coma substance			肝性昏睡を引き起こす原因となる物質の総称。
肝性脳症	かんせいのうしょう	hepatic encephalopathy	HE	肝性昏睡	肝不全により蓄積された毒性物質により生ずる意識障害。
肝性脳症昏睡度分類	かんせいのうしょうこんすいど ぶんるい	hepatic coma scale			犬山シンポジウム(1972年)で定められた肝性脳症評価のための基準。昏睡度Ⅰ度からⅤ度に分類されている。
ガンマアミノ酪酸	がんまあみのらくさん	γ(gamma)-aminobutyric acid	GABA		抑制性の神経伝達物質で、肝性脳症の原因の一つと考えられている。
急性型急性肝不全	きゆうせいがたきゆうせい かんふぜん	acute liver failure; acute type			急性肝不全のうち、初発症状出現から昏睡Ⅱ度以上の肝性脳症が出現するまでの期間が10日以内のもの。
急性肝不全	きゆうせいかんふぜん	acute liver failure	ALF	劇症肝炎	正常肝ないし肝予備能が正常と考えられる肝に肝障害が生じ、初発症状出現から8週以内に、高度の肝機能障害に基づいてプロトロンビン時間が40%以下ないしはINR 値1.5以上を示すもの。
急性妊娠性脂肪肝	きゆうせいにんしんせいしぼう かん	acute fatty liver of pregnancy	AFLP		妊娠後期に発症し、急速に肝障害が進行して肝不全に陥ることもある脂肪肝。ヘルプ症候群と類似しているが発症頻度はこちらの方が低い。
グルタミン	ぐるたみん	glutamine	Gln		窒素代謝の過程で生ずる。アンモニアの発生源になる。
劇症肝炎	げきしょうかんえん	fulminant hepatitis	FH	急性肝不全	炎症により先行肝病変のない肝臓が破壊され、発症から8週以内に肝性昏睡Ⅱ度以上、プロトロンビン時間40%以下の肝不全に進展した病態。
劇症肝不全	げきしょうかんふぜん	fulminant hepatic failure	FHF	劇症肝炎、急性肝不全	炎症以外の原因も含めて劇症肝炎と同様の肝不全に進展した病態。
劇症化予知式	げきしょうよちしき	prediction formula for fulminant hepatic failure			一般的な臨床検査値から急性肝炎が劇症化する確率を推定する式。
昏睡型急性肝不全	こんすいがたきゆうせいかん ふぜん	acute liver failure with coma			昏睡Ⅱ度以上の肝性脳症を呈する急性肝不全。
C型肝炎ウイルス	しーがたかんえんういるす	hepatitis C virus	HCV		一本鎖RNAウイルス。持続感染することが多く劇症肝炎の原因となることは稀である。
小油滴性脂肪肝	しょうゆてきせいしぼうかん	microvesicular steatosis	MVS		急性妊娠性脂肪肝、バルブロン酸ナトリウム、テトラサイクリンによる肝細胞障害機序。
人工肝補助	じんこうかんほじょ	artificial liver support	ALS		肝不全期間をサポートする人工臓器の総称。
生体肝移植	せいたいかんいしょく	living donor liver transplantation	LDLx		近親者を臓器提供者(ドナー)とし、ドナーの肝臓の一部を肝不全患者に移植する方法
遅発性肝不全	ちはつせいかんふぜん	late onset hepatic failure (LOHF)			初発症状出現から8週以降24週以内に昏睡Ⅱ度以上の脳症を発現した肝不全。急性肝不全の類縁疾患と位置付けられる。
D型肝炎ウイルス	でーがたかんえんういるす	hepatitis D virus	HDV		RNAウイルス、HBVと重感染すると重症化することが多い。
脳圧	のうあつ	intracranial pressure	ICP		頭蓋内の圧力。通常脳脊髄液の圧力。
脳浮腫	のうふしゅ	brain edema		脳水腫	血管外水分量の増加により起こる脳の腫脹。
ハイフロー持続血液濾過透析	はいふるーじぞくけつえきろ かどうせき	high flow (HF) CHDF			CHDFの透析液流量を300-500 mL/minへ大幅に増加させた血液浄化法。人工肝補助療法として用いられる。
B型肝炎ウイルス	びーがたかんえんういるす	hepatitis B virus	HBV		二本鎖DNAウイルス。アジアでは急性感染により劇症肝炎の原因ウイルスとして最も頻度が高い。
非昏睡型急性肝不全	ひこんすいがたきゆうせいかん ふぜん	acute libver failure without coma			肝性脳症が認められない、ないしは昏睡度が度までの急性肝不全。
ヘルプ症候群	へるぶしょうこうぐん	HELLP syndrome			妊娠中や産褥期に発症する溶血(hemolysis)、肝酵素の上昇(elevated liver enzyme)、血小板減少(low platelets)を呈する急性肝障害。DICや急性腎不全を合併する重症例では予後不良である。
マース	まーす	molecular adsorbent recirculating system	MARS		吸着とアルブミン透析を組み合わせた人工肝補助システム。
薬剤性肝障害	やくざいせいかんしょうがい	drug induced liver injury	DILI		急性肝不全の主要な原因。肝細胞破壊機序は炎症、変性、小滴性脂肪変性(microvesicular steatosis)がある。